

# I 活用① —— 結果の理解を深めるワーク（授業での展開）

## 【ねらい】

- ①結果を正しく理解する。
- ②結果をもとに、「ちあふるレベル」を上げるための具体的な方法を考える。
- ③困ったときの対処方法、相談方法を考える。

## 【準備するもの】

生徒用「アドバイスシート」

## 【展開（50分）】

○：指導上の留意点    ◆：評価規準

	時間	学習内容・活動	指導上の留意点および評価規準
導入	10分	<p>●結果の見方を理解する。</p> <p>これから返却するアドバイスシートは、みなさんに受けてもらった『ちあふる』の結果です。見方がわからない部分は、シートの右側の『『ちあふる』ガイド』を参考にしてください。シートの右側にも書いてありますが、『ちあふる』は、学校生活を充実させるための応援団となるものです。この結果をもとに、どうすれば学校生活を充実させていくことができるかを考えていきましょう。</p>	<p>○結果を過大評価したり、過小評価したりしないように留意させる。</p> <p>○結果は、変化しない固定的なものではなく、「今の自分」の鏡であることを意識させる。</p> <p>○結果が当たっていたかどうかではなく、これからの学校生活を充実させるために結果を確認させる。</p> <p>◆客観的に自分を理解しようとする意識をもつことができたか。</p>
展開	35分	<p>●シート裏面の「B. コメントを読んで感想を書こう」に取り組む。</p> <p>「アドバイスシート」の右側の谷折りの線で折ると、コメントを見ながらワークに取り組むことができます。ライフ・スタディ・キャリアのコメントをそれぞれ読み、感想を書きましょう。そして、これからの高校生活で気をつけようと思うこともまとめましょう。</p> <p>●シート裏面の「C. レベルを上げる方法を考えよう」に取り組む。</p> <p>「アドバイスシート」の中央の谷折りの線で折ると、結果を見ながらワークに取り組むことができます。ライフ・スタディ・キャリアのちあふるレベルを上げるためにできることを考えて書きましょう。また、伸ばしたり深めたりしたい興味についても書きましょう。</p> <p>●シート裏面の「D. ストレスについて考えよう」「E. 困ったときの相談方法を確認しよう」に取り組む。</p> <p>Dの「ストレスについて考えよう」を読み、最後にある「オリジナルの対策」をまとめましょう。また、Eの「困ったときの相談方法を確認しよう」を読み、「身近で相談できる人の整理」と「相談機関を利用したほうがよい問題」を書きましょう。</p>	<p>○谷折りするとコメントを見ながらワークに取り組めることを伝える。</p> <p>○文章が書きにくければ、箇条書きでもよい。</p> <p>○抽象的な心がまえのようにならないよう、具体的な行動として書くように注意させる。</p> <p>○「～しない」などの否定的な表現ではなく、「～する」などの肯定的な表現で書かせる。</p> <p>◆文章としてわかりやすく課題をまとめることができたか。</p> <p>◆高校生活を充実させるための工夫などを具体的にまとめることができたか。</p>
まとめ	5分	<p>●結果を学校生活に結びつけて考える。</p> <p>今日は、『ちあふる』の結果をより理解するためのワークを行いました。実際の学校生活で工夫できることなどをどんどん実践していきましょう。</p>	<p>○時間があったら、ワークを行った感想を発表させてもよい（シェアリング）。</p> <p>◆結果をより理解することができたか。</p> <p>◆学校生活を充実させていこうという意欲をもつことができたか。</p>